

もろやま

発行／毛呂山町議会
編集／毛呂山町議会だより編集委員会

MOROYAMA ASSEMBLY NEWS

議会だより

〒350-0493 埼玉県入間郡毛呂山町中央2丁目1番地 TEL 049-295-2112 URL <http://www.town.moroyama.saitama.jp/kakuka/gikai/>



運動会（毛呂山小学校）

9月の定例会

議会人事	2P
平成19年度一般会計決算	3～4P
平成19年度特別会計決算	5P
平成20年度補正予算	6P
条例の改正 常任委員会報告	7P
いっぱん質問 10名・他	8～13P
人事・議会の動き・他	14P

平成20年10月20日発行

第 62 号

この用紙は再生紙を使用しており、議員の自主編集で発行しています。

9月 議会定例会

平成20年9月定例議会は9月1日から19日までの19日間の会期で開催されました。主な議案は、新規条例1件、条例の一部改正4件、補正予算5件、決算の認定6件、町の区域、町道の路線認定1件、訴訟の提起及びび人事1件、報告3件の合計23件の上程がされ、慎重審議をいたしました。

なお、今議会では、正副議長の選挙、議会運営委員、及び委員会云の編成が行われました。

正副議長決まる

議長就任あいさつ

爽やかな実り豊かな時節を迎え、皆様には御健勝で
ご活躍の事とお喜び申し上げます。

議長 伊藤 和由

9月1日定例議会に於いて、多数の議員皆様のご推挙を賜り議長に就任致しました。身に余る重責であり

ますが決意を新たに専心職責の達成に精励致す所存で御座います。

公正・公平を旨とし、行政運営の監視機能に努め、住民皆様との情報の共有化を図りつつ、住民の代表機関として理解される議会運営に努めて参ります。

副議長 井上 健次

正副議長選挙結果

◆議長

伊藤和由 11票
岡野 勉 2票
藤岡健司 1票

◆副議長

井上健次 11票
藤岡健司 1票
無効(白票) 2票

常任委員会の構成

総務文教

議会、総務、教育、企画
政策関連、町税ほか歳入全般及び国民健康保険等です。

委員長 岡野 勉
副委員長 藤岡 健司
委員 井上 健次
伊藤 和由
菅野 博子
長瀬 衛
堀江 快治

生活福祉

福祉全般、生活環境、老人保健、介護保険、水道事業、農業、土木建設並びに農業集落排水事業等です。

委員長 下田 一甫
副委員長 岡部 和雄
委員 宮寺 征二
川上 伸子
小峰 明雄
高橋 達夫
栗田 秀彦

議会運営委員会

議事日程や会期の決定並びに議長の諮問に関する等です。

委員長 岡部 和雄
副委員長 下田 一甫
委員 井上 健次
岡野 勉
川上 伸子
長瀬 衛

議会だより編集委員会

委員長 岡野 勉
副委員長 下田 一甫
委員 宮寺 征二
藤岡 健司
川上 伸子
菅野 博子



平成19年度 決算

2007

一般会計決算を認定

19年度主な事業

区 分	金 額
一般会計決算	
歳入総額	86億449万円 (前年度比100.92)
歳出総額	84億775万円 (前年度比102.30)
歳入歳出差引額	1億9,674万円 (翌年度へ繰越すべき財源10万円含む)
実質収支額	1億9,664万円 (翌年度へ繰越)

●歳入内訳

(単位：千円)

科 目	収入済額
町 税	3,956,830
地方譲与税	123,000
利子割交付金	18,266
配当割交付金	19,157
株式等譲渡所得割交付金	10,709
地方消費税交付金	317,876
ゴルフ場利用税交付金	85,565
自動車取得税交付金	90,629
地方特例交付金	20,380
地方交付税	1,502,057
交通安全対策特別交付金	6,870
分担金及び負担金	128,223
使用料及び手数料	65,907
国庫支出金	470,447
県支出金	418,106
財産収入	30,741
寄附金	2,734
繰入金	410,524
繰越金	307,385
諸収入	113,872
町債	505,208
歳入合計	8,604,492

●歳出内訳

(単位：千円)

科 目	支出済額
議会費	104,612
総務費	1,257,990
民生費	2,338,333
衛生費	761,189
労働費	30,032
農林水産業費	142,392
商工費	38,722
土木費	957,087
消防費	592,552
教育費	938,451
災害復旧費	0
公債費	753,200
諸支出金	493,184
予備費	0
歳出合計	8,407,750



- 町界町名地番整理事業
- 友情都市締結記念事業
- 老人福祉センター管理運営委託
- 町道維持・新設改良事業
- 葛川放水路橋りょう工事
- 長瀬駅前野久保線整備事業
- 標準学力検査委託
- 毛呂山小学校校舎耐震補強工事設計委託
- 小・中学校施設整備工事

平成19年度 一般会計決算 (賛成多数認定) 主な質疑 と答弁

◇歳入

問 住宅開発により税の見込みなど、情勢は家屋が増え、土地が下落したなど言われるがこの傾向をどうか。

答 土地については、ほぼ収束しつつある状態。最近さらに下落傾向にある。毛呂山町の不動産の動きが鈍くなっている。

問 税の滞納により差し押さえの傾向はどうか。臨宅徴収の状況は。

答 平成15年度までは年間20件程度で土地、家屋の不動産であったが、最近は、預金、給与、生命保険など回収可能な債券を中心

に移して来ている。平成19年度の差し押さえ件数は193件。臨宅徴収は、滞納者の方の生活状況を把握するために集中的にやってきた。また、平成19年度一般町税の執行停止の件数は535件、金額は3838万円。

問 臨時財政対策債の仕組みは。

答 平成13年度から制度化。地方交付税の代替え財源と見て良い。

◇歳出

問 公民館の利用者が減っていると思うが。有料化の関係はあるか。

答 中央公民館が減少傾向であり、サークルの登録は190余りで減少はないが、利用回数を減らしている。なお、不定期の利用団体が可成り減少していると思う。有料化の影響は、利用の回数に多少出ていると思う。



川角小学校舎の耐震補強工事

問 地下水検査委託料は。

答 年2回、10箇所。また、毛呂本郷のベルクと旭台の元日立セミコンダクタ付近の検査を毎年やっている。

問 緑の募金緑化植栽工事の内容は。

答 18年度、19年度はローズガーデンに使った。今年度は四季彩の丘公園の植樹を検討している。

問 民生委員・児童委員の定数を増員したのか。

答 16年の改選で55人を72人に増員。概ね200世帯に1名に準じて町内に区分して72名としている。報酬はないが費用弁償を出している。

一般会計決算討論

反対します

個人町民税は、昨年にくらべ、22.8%の増となり、都市計画税も1.4%の増額となった。これは定率減税の廃止により多くの町民が負担増になったと思う。町の給与所得者の平均年収は、年々減っている。多くの町民の収入が減っている時に町は、もう少し、くらしと福祉に予算を回してほしい。長瀬駅前野久保線に財政の占める割合が大。小・中学校の環境整備に予算を回すべきではないか。

藤岡健司議員

超過勤務手当での削減等職員の努力は認める。一方、教育では、施設管理に課題がある。また、一部に見識な内容の報告書問題があり、真に開かれた教育行政の推進を願う。他に、最も住民要望の高い生活道路の整備の進捗率や市街地におけるバリアフリー化の遅れには不満だ。野久保線は人口等将来推計との整合性がなく、自由通路、橋上駅舎構想を推進することは極度の過剰投資である。

長瀬 衛議員

賛成します

経常収支比率87.9%は、前年と変わらず推移し、公債比率においては平成15年の9.1%から年々減少し平成19年度は7.1%と町財政の健全性が伺えます。歳出面では、指定管理者制度の導入や庁舎職員数適正化に向けた成果が徐々に数字として見られ始めました。教育費では、小学校校舎耐震補強工事を始めとする安全面が計られました。予算執行率も低い結果から教育部局の更なる奮起をお願いして賛成します。

井上健次議員

平成十九年度

特別会計決算

国民健康保険

一般被保険者
年間平均被保険者数 8053人
療養の給付 1人当り費用額 21万9565円

決算額は、歳入総額

41億3566万円。歳出総額37億3128万円です。

保険事業費については、疾病予防施策を推進するため、1284万円を支出しました。

主な事業として、国保へルスアップ事業（生活習慣の改善に重点を置いた健康事業）を行うとともに、保養所及び予防検診受検者に対し、補助金を交付しました。

（賛成多数認定）

老人保健

受給者数 2925人
1人当り年間医療費 74万3603円

決算額は、歳入総額23億

2553万円。歳出総額22億4604万円です。

受給者の内訳は、国民健康保険2404人、社会保険521人です。

主な事業としては、高齢者の健康の保持と適切な医療の確保を図るため、高齢者に対する医療給付を実施しました。（賛成多数認定）

介護保健

第1号被保険者 7498人
介護認定者 870人

決算額は、歳入総額13億8097万円。歳出総額13

億3945万円です。

介護保険制度の開始から8年目を迎えた平成19年度の事業運営にあたっては、制度の町民への周知と各種サービスの利用促進に努めました。（賛成多数認定）

農業集落排水

農村地域における生活環境の整備と河川や用排水路などの水環境の保全を目的とした事業

決算額は、歳入総額2745万円。歳出総額は2434万円です。

葛貫上地区においては、供用開始から約10年が経過しましたが、管路施設、処理場とも順調に稼働しています。また、大谷木上地区においては、18年度から供用を開始し、水環境の保全と地域住民の生活環境の向上に大いに寄与しています。（全員賛成認定）

水道事業

給水戸数 1万4719戸
給水人口 3万6992人

事業収益の決算額は、8億8024万円、事業費用の決算額は、7億7830万円です。

水道事業は独立採算性を基礎に、清浄にして豊富で低廉な水の供給を図り、公衆衛生の向上と生活環境の改善に寄与することを目的とします。（賛成多数認定）



改修された門扉・フェンス（苦林浄水場）

主な質疑

問 国保について保険証が取り上げられ、医療を受けられない子どもが出ています。聞くが毛呂山町では。

答 具体的には医療を「我慢している。受けられない」などの事例は把握していません。

問 水道事業について使用量が毎年減っている。純利益が課題ではないか。

答 変動が大分あるので経費の削減を図っていきたい。

問 介護保険について今後各自自治体の差が大きくなると思うが。

答 国が基本的な仕組みを作っている。町としては、要介護状態になる方を少なくする。あるいは進む状態を遅くする。

問 老人保健について医療諸費で歯科の割合は。

答 医科が16億8000万円。歯科は6400万円程度。

平成20年度 補正予算

前年度繰越金5会計で
3億8,264万円

一般会計

地方交付税

324万3千円

増額

一般会計補正予算(第2号)は、歳入歳出それぞれ8734万9千円を追加し、予算総額を85億501万7千円としました。

歳入は、地方交付税324万3千円、繰入金461万3千円、繰越金366万9千円、町債132万6千円を増額。
歳出は、総務費1928

万3千円、民生費1304万9千円、土木費3756万1千円、教育費646万8千円等増額。
(賛成多数可決)

増額

繰越金

2億3937万円

増額

国民健康保険

国民健康保険特別会計補正予算(第1号)は、歳入

歳出それぞれ2億403万円を追加し、総額を40億216万円としました。
歳入は、療養給付費等交付金2187万円増額、前期高齢者交付金5721万円減額。

歳出は、共同事業拠出金9616万円、基金積立金5000万円、予備費4913万円増額。
(全員賛成可決)

繰越金

6949万円

増額

老人保健

増額

繰越金

6949万円

増額

老人保健

老人保健特別会計補正予

算(第1号)は、歳入歳出それぞれ6981万円を追加し、総額を3億970万円としました。
歳入は、支払基金交付金32万円を増額。歳出は、諸支出金6981万円増額。
(全員賛成可決)

増額

繰越金

60万5千円

増額

農業集落排水事業

繰越金

農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)は、

歳入歳出それぞれ60万5千円追加し、総額を2651万2千円としました。
(全員賛成可決)

増額

繰越金

3652万円

増額

介護保険

介護保険特別会計補正予

算(第1号)は、歳入歳出それぞれ3652万円を追加し、総額を14億5699万円としました。
歳入は、繰越金3652

万円増額。歳出は、諸支出金2835万円増額。
(全員賛成可決)

主な質疑

問 学校管理費備品購入費階段昇降機は補正ではなく当初予算で考えるべき。

答 昇降機の話は2月にきた。当初予算は間に合わず6月は機種等検討しており9月補正に計上しました。

問 賦課徴収費電子計算機業務委託料内容と根拠は。

答 21年度より年金の特別徴収に対応するための改造費用です。内訳は徴税の機関システムの改修費用とデータターのやりとりをネットワークを通して行いますのでそのための構築費用です。

問 老人福祉センター空調設備等改修工事設計委託料工事の内容と委託は。

答 山根荘全体に劣化が進んでいる冷暖房等について総合的に検討してもらおう委託は指名競争入札です。

条例の改正など

総合公園の指定管理者 3年位の期間置き検討

公平性の確保や受益者負担の原則の観点から、体育施設の使用料を包括的に見直し、文言を整理するため毛呂山総合公園の管理に関する条例の一部を改正した。

主な質疑

問 「体育事業に利用する場合」と「体育事業以外に利用する場合」との違いは。
答 「体育事業に利用する場合」とはアマチュアの体育、スポーツ、レクリエーションに利用する場合であり、「体育事業以外に利用する場合」とは、それ以外の目的で利用すること、過去に問い合わせのあったドラマの一場面を撮影するための利用、コマーシャル用の撮影なども該当する。

その他の条例改正等

◇ 地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例
(全員賛成可決)

◇ 毛呂山町長期継続契約を締結することができる契約を定める条例の一部を改正する条例
(全員賛成可決)

◇ 町の区域を新たに画し変更することについて
(全員賛成可決)

町界町名地番整理事業
岩井西地区、南台地区の一部を実施
(全員賛成可決)

◇ 町道の路線の認定について
(全員賛成可決)

◇ 訴訟の提起について
(全員賛成可決)

◇ 毛呂山町立図書館条例
継続審査

請願 協同労働の協同組
合法の速やかな制定を求める
継続審査

毛呂山町体育施設 の有料化

問 「総合公園は指定管理者に指定する条例」は議決しているが、条例の一部改正後、いつ頃を導入時期と考えているか。
答 できれば、3年ぐらいの期間を置き検討したい。

(賛成多数可決)

公平性の確保や受益者負担の原則の観点から適正な使用料を徴収するため、文言の整理とあわせ毛呂山町体育施設に関する条例の一部を改正するものです。
主な内容は、現在無料の体育施設を原則有料にするとともに、現在有料の施設の使用料について一部を改正するものです。

(賛成多数可決)

常任委員会レポート

生活福祉常任委員会

平成19年度一般会計決算認定のうち、歳出の部民生費・衛生費・労働費・農林水産業費・商工費・土木費・災害復旧費、特別会計決算認定、水道事業・老人保健・介護保険・農業集落排水事業、町道の路線の認定及び請願について審査しました。尚、審査にあたり議案に関する現地視察を行いました。



下川原地区道路改良視察

総務文教常任委員会

平成19年度一般会計決算認定のうち、歳入の部全部及び歳出の部議会費・総務費・消防費・教育費・公債費・諸支出金・予備費、特別会計決算認定、国民健康保険、条例3件について審査しました。尚、審査にあたり議案に関する現地視察を行いました。



新しき村美術館の視察

いっぱん質問

質問と答弁の内容を要約してお知らせします。

質問議員と質問事項

- 小峰明雄議員** ① 地球温暖化対策
② 教育・子育て環境の充実
③ 救命処置
- 高橋達夫議員** ① 毛呂山・越生都市計画の一部変更
② 町が管理する公共施設の維持管理
③ 公共下水道組合の溢水事故対策
- 堀江快治議員** ① 駅周辺のバリアフリー
② 活気のみなざる町の姿とは
- 長瀬 衛議員** ① 明瞭な基本理念と今後の重要施策
② 「基礎学力日本一を目指す」
- 藤岡健司議員** ① 教職員の勤務実態
② 防災対策
③ 臨時職員の職場
- 井上健次議員** ① 都市計画法と優良農地保護
② 生活保護受給
③ 町道・農道整備
④ グリーン事業
- 下田一甫議員** ① 総合公園の維持管理等
② 町内のハイキング道等
- 菅野博子議員** ① 町の財政
② 地球温暖化対策
- 岡野 勉議員** ① 「町民の足」確保、公共交通
② 官制ワーキングプアの解消を
③ 後期高齢者医療制度
④ 新学童保育所建設
⑤ 河川の水質浄化および農業振興
- 川上伸子議員** ① 医療制度改革
② 屋上緑化

※内容については、各人の原稿をもとに質問順に掲載しました。
質問順は抽選により決定されます。

高齢者等への学習支援は

いきいきわくわく塾・寿大学等を実施

小峰 明雄 議員

問 もろやま環境にやさしい行動計画の実施状況等は。

答 平成15年度の総排出量と比較して、平成19年度は約18%の削減が図られた。

問 小・中学校の少人数学級編成、教育長のご見解は。

答 県費負担教職員の増員なし

問 が条件、人材予算の確保等検討。

答 学校給食費が10月から一律300円の値上げ、小学校8・21%中学校6・74%と値上げ率が異なりますが、経緯等は。

問 委員会では、異なる事に対して議論はなく、小学校の給食費の1・2倍の確保に至った。

問 情報推進室で作成の小・中学生向けの学習教材、ご所見は。

答 学校現場からの要望等を取り入れながら活用していきたい。

問 小・中学校の理科設備品等の現状と新学習指導要領の内容での理科設備品等は。移行措置で観察や実験の重視により各校での消耗品等の予算の増加は。

答 学校現場からの意見を十分把握し、必要な理科備品の購入を別枠で予算要求していきたい。

問 高年齢者等への学習支援は。

答 今年度中にニーズ調査を予定しており支援の方向等を検討。

問 4回目的一般質問、泉野小

学校区への学童保育所の設置、進捗状況は。国は71人以上の施設は補助金を平成22年度以降は打ち切るが、1人2名とし70人の定員は。

答 基本設計が終了、定員は70人で条例で決定したい。

問 上町保育園の老朽化と同一保育料での施設の格差。

答 早い時期に対処したい。

問 大切な命を救う、心肺蘇生法と自動体外式除細動器(AED)の使用等を講習会で町民への普及は。

答 防災訓練で実施、消防組合の協力を頂き進めたい。



気軽に楽しめる地上のカーリング、ペタンク！



早期の耐震診断、耐震工事が望まれる山根荘大広間

老朽化する町公共施設 今後の維持管理は

厳しい財政状況だが修繕工事等計画的に進める

高橋 達夫 議員

問 昭和58年建設の町民

プールは、老朽化により既に閉鎖された。町には昭和40年代から50年代前半にかけて建設された公共施設が多くある。昨今、老朽化により劣化が目につくが、耐用年数を超え

た建物は。

答 耐用年数について建築基準法上の明確な規定はないが、財務省が定める減価償却期間によると鉄筋コンクリート造で50年、木造建築で24年となっており、町には鉄筋コンクリート造で該当するものは無いが、木

造では役場分室（内野邸）が該当している。なお鉄筋コンクリート造で古いものは金塚浄水場（昭和40年建設）、川角小学校（昭和43年建設）、毛呂山小学校（昭和47年建設）、毛呂山中学校（昭和48年建設）等である。

問 今後の町公共施設の保全についてどのように考えているのか。

答 適正な保守、管理が重要であるので、厳しい財政状況の中だが、修繕工事等を計画的に進めていく。

問 時代の変化により閉鎖を考えている施設は。

答 現時点で閉鎖を考えている施設はない。

問 施設利用者の安全確保を第一に考えるべきだが、山根荘、上町保育園、若草保育園は素人が見ても耐震性が危ぶまれる。あの状況で安心なのか、それらの施設の耐震診断をする考えはあるのか。

答 山根荘は建設されて既に31年経過し、劣化も進み、耐震性も心配される。できるだけ早い時期に耐震診断、耐震補強工事等の対応を検討する。保育園も建設されて30年が経過し、早い時期に対応していきたい。

『バリアフリー新法を遵守』 心の通った町づくりを

実現に向けて努力する

堀江 快治 議員

新バリアフリー法の実施を

問 障害者、高齢者にやさしい地域づくりの実現を。とりわけ駅周辺の安全対策の整備を。

答 東毛呂駅前通りは、今年度、舗装修繕工事に併せて、段差の解消。誘導ブロックの設置、車イスの通行安全の為、幅員を確

保する。駅構内、及び町道接合

個所は、東武鉄道と協議。川角駅周辺は、当道路段差解消の修繕工事を行う。武州長瀬駅周辺は、現行工事の中で充分配慮する。

活気のみなざる町環境とは

問 緑と清流、伝統ある祭りの

継承、商業・工業・農業の繁栄の為、町長の現状施策は。

答 昨今の景気低迷は、従来の活力、消費意欲など、きわめて鈍化させている。特効薬はみつからないが、とりわけ、自然を大切に、観光事業の推進は、極めて重要。鎌北湖及び、周辺の景勝地は伝統もあり、ハイキングコースの整備は、発展のキーワード。併せてポート遊びの復活など、関係者と協議する。

問 町の景勝地は、トイレ等の設備が、きわめて不十分。来訪者に申しわけない。

答 指摘の通りであり、よりよ

い、観光整備につとめる。

問 上田知事は、みどりと川の再生を公約として掲げ安心した川遊びが出来る様にと提言している。越辺川の河床整備は、緊急課題だ。

答 町民は、もとより、本町を訪れる人々の心を和らげるこの事業は、実現をしたい。県当局に強く要望する。

問 空き店舗対策、雇用促進が期待出来る企業誘致、優良農地の保全など、課題は、山積。

答 充分、調査研究する。



障害者、高齢者に優しい道路を望む



やり逃がした工業団地計画

8年の実績ではなく、「借金の少ない町」は町の構造的な原因！

工業団地等、大きな借金をしてこなかったことはその通り

長瀬 衛 議員

問 町長選から1年半。マニフェストでは「行財政改革の結果、実に借金の少ない町を作ることが出来た」と自慢するが、本当に8年間の実績なのか。借金が多いと聞かされてきた町民は驚く。歴史

答 町長選から1年半。代が区画整理や工業団地等の必要な大型事業をやり逃したことや高金利時代の箱物建設費の返済が終了した等、本町の構造的な原因である。認識を誤ると今後の取組みに影響する。

その通りである。当初予算が小さくなった事は行財政改革をしていることにもなる。

町の経済力の現状！

問 年金受給者が15年前の2・6倍、児童数は20年前より43%減少と急激な少子高齢化が進み、工業部門では事業所数が20年前の37%減、製品出荷額も12年前の56%減等と町の経済力は人口減とは比較出来ないほど落ち込み、活気が失われつつある。現状認識を問う。

答 景気が良かったという実感のないまま終わった。特効薬はないが、賑わいを取り戻す施策を

実施していかなければならない。

地域力の強化策は！

問 高齢化が急速に進み、団地等の現状に危機感を持つが、大事な地域の活力がない。地域力強化に本気で取り組むべき。

答 サロン事業に対し、積極姿勢が欠けていた。十分認識したい。幼児教育日本一を目指せ！

問 殺伐とした時代であること動機として「基礎学力日本一」を掲げたが、その認識なら幼児教育が優先である。

答 本が読め、字が書けなくては何か出来ない。学力をつけて殺伐とした事件をなくしたい。

教職員の勤務実態は

業務が勤務時間内にやりきれない

藤岡 健司 議員

問 多忙とされている現状と課題について。

答 業務の多くの部分は、授業終了後や生徒下校後に行わなければならないのが現状。この現状から、授業日における業務が勤務時間内でやりきれないという課題。

問 人事評価制度の取り組みについて。

答 人事評価制度は、児童・生徒を伸び伸びと成長させるために、教職員の資質・能力の向上を図り、学校全体を活性化させ、教育力を高めるために実施している。

*人事評価制度は、運用を間違えると成果主義的な競争原理が持ち込まれ、教職員や、児童生徒の自主性や創造性が失われてしまうと思われ、人事評価は、先生方の元気がなくなることにつながる問題点があると思われまます。

防災対策について

問 防災計画の備蓄について現状と課題。

答 備蓄品の現状は、平成20年1月1日現在では、アルファ米3000食、乾パン504食、寝袋132枚、毛布620枚、ブルーシート112枚、土のう

袋18500枚、簡易トイレ100個、など課題としては、災害のあった地域の事例などを参考にしながら、今後、どのようなものを備蓄していくべきか研究をしていき、順次取り揃えていきたい。

臨時職員について

問 臨時職員は、どの位の年収なのか。

答 一般事務の場合はフルタイムの勤務で年間約140万円位、短時間の勤務ですと年間約100万円位。



学校では、先生も児童生徒も明るく元気に



農業振興地域でない整備された大久保耕地

優良農地保護が開発か

地権者の多くの要望があれば

井上 健次 議員

問 平成19年11月、都市計画画法が改正され、それに伴い県などの関係機関から各自治体（市町村）へ問題点などの見直しが求められている。

答 優良農地を保護するために農業振興地域（農振）

の指定があり、開発に対しては農振の除外申請をしなければならぬが、昨今の状況は優良農地を保護する役割が果せず、開発によって農地が失われているのが実態だ。

問 地球環境や自給率が叫ばれるなか、開発よりも農地の保護を

町としての姿勢として表すべきではないか。

答 農振地域の整備に関する法律や農地法等による規制がかかっている場合、制限が解除されなければ開発はできず、都市計画上の見地からも優良農地の保護につきましても、履行できているものと考えております。

問 町内では、何箇所も農振除外申請の後に資材置場や駐車場となり、その後都市計画法（現行34条11号）によって宅地開発された場合がある。農振除外申請と都市計画法は密接な関係にある事は立証済みだ。

町広報誌には、長い間荒れていた遊休農地が地域の方で解消した大久保耕地が掲載されたが、町の振興計画から見れば、大久保耕地は農振農用地の指定ではなく、開発ができる活性化エリアの位置付けとなっている。遊休農地解消にむけ、多くの財源を投入し耕作率も90%台と向上した大久保耕地は、将来を考えた上でも農振農用地の指定をすべき地域である。

答 地権者の多くの要望があれば、前向きに考えたいが当面は現状の町の計画方針で進めていきたい。

総合公園等の維持管理の悪さが目に余る

整備してから指定管理者に移行

下田 一甫 議員

問 公園内の雑草が目に見えるが。

答 適切な時期に草刈り等を行わない環境美化に努める。

問 体育館南方の景勝池の汚濁がひどく公園のイメージダウンになるが。

答 公園風景の一面を提供すべき修景施設であり、本格的な清

掃の実施等対策を考える。

問 閉鎖されたプールの管理状況が悪いが。

答 巡回点検を徹底し、公園全体の美観を損うことの無いよう清掃、雑草の処理等に努める。

問 借地駐車場の雑草が醜い。提案だが駐車場としても利用出

来る程度に桜等植樹し、総合公園を含め花の名所にすることに より土地の利用価値を上げられないか。

答 雑草は醜くなる前に対処するよう努める。提案については地権者の考えはもとより、目的や効果、管理のあり方等検討して行く。

山林内のハイキング道等

問 コースに危険箇所、巾員等の問題があるが整備、改良はできないか。

答 現地調査の上検討する。コースの途中行路に迷う所も多いが標識の設置はできない

か。目的地に到達する時間の目安など表示できないか。

答 明瞭な道標を設置するため現地確認し、検討する。

問 ハイキング者に配慮したトイレの増設はできないか（特に阿諏訪地内）。

答 桂木、宿谷の滝入口、鎌北湖に2箇所設置されている。阿諏訪地内は状況を見て検討する。

非常時の通報手段。

問 ほとんどの方が携帯電話を携帯しているが山中では通じ難い所があるのでアンテナの増設を要望する。



雑草で入口が良く解らないハイキング道路

(単位：%)

毛呂山町の健全化法4指標

健全化判断比率	平成19年度	早期健全化基準
①実質赤字比率	-	14.27
②連結実質赤字比率	-	19.27
③実質公債費比率	7.9	25.0
④将来負担比率	68.4	350.0

毛呂山町の基準はまだゆとりがある。それは問題なしか。

財政健全化法による町への影響は

早期健全化基準を下回っているがサービスの低下はない

菅野 博子 議員

問 町民が背負っている負債・借金も公表すべきと考えるが、一般会計の起債残高とそれの一人当りの額は。

答 起債残高は19年度末で、75億3842万2千円で町民一人当たりは約

20万5千円です。

問 町の負債額は町の財政規模から見て多いと思うか。妥当の範囲と考えられるか。

答 健全であると考えている。18年度末では、30町村の中では一人当たりの公債残高が少ない方から2番目。70市町村では同

じく6位であります。

問 早期健全化基準が下回ってれば問題がないと言うことか。

答 現時点では問題ないと考えています。

問 財政が厳しいと言われているがその根拠は。

答 行政需要に対応しきれていない。予算要求に応じられないということを実感している。

問 将来負担比率68・4について

答 現時点では心配していない。将来的には公共施設の老朽化等ありますがその時点で考えていきたい。

問 今後この法律により、公共施設の老朽化対策・道路整備など大きな事業を手掛けたいと考へても安心・安全な町づくりの足枷あしかけにならないか。

答 公債費の約55%は国の政策的なもので町の事業債は33億6千万であります。健全財政が計られてると認識しています。一般財源から一時的に出すと厳しいものがある。

地球温暖化対策について

問 家庭からの二酸化炭素の排出量が大きな原因、町の対策は。

答 今後も広報やイベント時に啓発の推進を図りたい。

「町内循環バス」不便地のみ通勤・通学の路線を!

通勤・通学は考えていない

岡野 勉 議員

問 町内循環バスの実施に当たって「末永く町民に愛される」ためには町民、利用者、専門家を含めた検討委員会を立ち上げる必要があると思う。

答 運行主体は社会福祉協議会にお願いする。循環バス運行予算が議会で議決した時点で停留

所、路線など、町民には周知する予定でいる。当面は試行と意見反映は社協の理事会、評議委員会でもできるものと思う。

問 社協はあくまで委託先だ! 実施までにはまだ時間がある。12月までに「町民説明会」を開催し、町民の要望や意見を取り

入れた運行計画作成に町は責任をもつべきだ。また、「請願の趣旨を履行しているだろうか」。通勤、通学の交通不便地には朝便を走らせるべきと思うが。

答 町内を循環する「福祉バス」と考えている。運行時間は朝の9時から夕方5時頃であり、通勤・通学は考えていない。また、町民説明会を開催すると「要望が切りがなくなると出され、住民の声を聞いていたらバスが2台から6台、10台あっても足りない」

町民説明会は開催しない。

問 住民は常識を持っていて、住民を信頼し、実施に向けての

意見交換をすべき。

問 ワーキングプアの解消を!

答 県の最低賃金審査会では、今年度の引き上げ額を20円増の722円。本町職員には確か時給710円がある。直ちに改定すべきと思うが。

問 調査し検討する。

答 時給800円でフルタイムで年収が140万円。臨時職員は原則「兼職禁止」これでは食えない!時給は1000円に近付けるべき。

問 現状は、県平均の水準。職員の待遇改善に努めたい。



いよいよ請願実現か!! マイクロバス 10人乗り (イメージ)

処方せん受付



ジェネリック医薬品の使用を

ジェネリック医薬品使用で 医療費の削減

更なる病院への啓発・普及促進に努める

川上 伸子 議員

問 医療制度改革の一環として、ジェネリック医薬品（後発薬品）の利用促進が掲げられ、この医薬品を活用することで、個人の自己負担が減ると同時に、国全体の医療費の抑制にも結びつくとい

う大きな効果が期待されます。次の点について伺います。毛呂山町には幸いにも埼玉医科大学病院があり、全国的に見ても医師が少ないと言われる中、町民は安心して医療が受けられる環境にあります。同医大では、ジェネリック医薬品に対し、どの

ような見解を持ち、どのような取り組みをされているかを把握し、ジェネリック医薬品の利用促進と共に、安心・安全の医療となるよう推進することが大事であると思います。現在の町の方針、町民に対し、わかりやすい説明が必要と思いますが情報提供の方法について伺います。

答 埼玉医大は積極的にジェネリック医薬品を採用しており、町としても、年々増加する医療費に対応するため、今後ともジェネリック医薬品を出来るだけ使用するよう病院への啓発、普及促進に努めてまいります。また、町民へは、町の広報誌で情報提供をまいります。

問 本年、6月議会で質問した屋上緑化、その後の進捗状況は。

答 この事業はヒートアイランド現象の緩和や環境意識の啓発につながり、利点はあるものの一方では設置工事費や維持管理費等のコスト面での問題があります。屋上緑化以外の断熱処理方法もありますので、いろんな角度から費用対効果の検討を行っている状況です。

提言 コケを利用した屋上緑化があります。今後の検討課題にしてはどうか。

全員協議会

(9月20日)

◎毛呂山町国民健康保険税

賦課方式の変更について

○平成21年度から、国民

健康保険税の基礎課税額（医療分）の賦課方式の内、資産割課税と平等割課税を廃止し、

後期高齢者支援金等分

や介護納付金分と同様

に2方式課税に移行し

ようとするもの。同時に

に応益割合を改善し軽

減割合を現行の6割・

4割から、7割・5割

に高め、新たに2割軽

減制度を創設しようとする

するものです。

◎学校給食費の値上げにつ

いて

○食材の値上がりに伴

り、小学校・中学校と

もに10月より、1箇月

300円の値上げとな

ります。

◎体育施設使用料の見直し

について

○これまで無料の体育施

設や学校体育施設の使

用が有料化されます。

◎(仮称)やぶさめサミット

の開催について

○全国の流鏝馬関係者

を招き、保存をテーマ

にサミットの開催を計

画。

◎友情都市交流事業につい

て

○本年2月11日盟約を締

結した宮崎県木城町の

友情都市交流に伴い産

業まつりに参加。

◎目白台循環バス廃止に伴

う住民の交通手段の確保

に関する請願に対する現

在迄の検討状況について

○社会福祉協議会に委託

し、ワゴン車2台によ

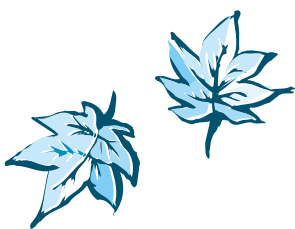
り、ほぼ全町の町内循

行（4コースで月曜日

から金曜日）について

検討。

(次ページへつづく)



議会の動き

- 7月20日 第61号議会だより発行
- 25日 埼玉県町村議会議長会決算審査
(埼玉県自治会館)
- 8月22日 毛呂山・越生・鳩山公共下水道組
合議会定例会
- 25日 議会運営委員会
- 26日 埼玉西部環境保全組合議会定例会
- 27日 坂戸地区衛生組合議会定例会
- 29日 広域静苑組合議会定例会
- 9月 1日
} 第3回(9月)議会定例会
9月19日
- 2日 全員協議会
- 10月17日 埼玉県町村議会議長会議員研修会
(熊谷市さくらめいと)

次回定例会は12月です。

9月定例会傍聴者数

本会議日	傍聴者数(人)
9月 1日(月)	1
3日(水)	12
4日(木)	14
5日(金)	1
8日(月)	4
9日(火)	2
19日(金)	0

傍聴席

編集委員

委員長 岡野 勉
副委員長 下田 一甫
委員 宮寺 征二
藤岡 健司
川上 伸子
菅野 博子
菅野 博子
伊藤 和由
(アドバイザー)

これも地球温暖化の影響か？ 厳しい暑さが続いた今年の夏も終わり、いよいよ実りの秋を迎え、こがねいろ黄金色のたわわな稲を見る時、心豊かになるのは私ばかりではないでしょう。日本のあり方も一人一人が安心して心豊かに暮らせるようにと切に願うものです。

新しい総理も決まり、日本の将来の行方を決める衆院選は、庶民が安心・安全に暮らせるための選挙でありたい。

菅野 博子

(前ページに続く)

◎川角不燃物処理施設建設に係る協議書の一部を変更することについて

○建設の規模縮小に伴う変更の協議。

◎川越総合卸売市場(株式会社)の減資について

○資本金を減額することにより経費の節減を図る。

◎パトカー駐留所用地の売却について

○パトカー駐留所として整備した町有地が未利

用のため売却するもの。

議会協議

○議員の派遣

・埼玉県町村議長会・入間郡町村議長会議員研修会について。

○毛呂山町議会議規則の一部改正について。

○毛呂山町議会事務局処務規定の一部改正について。

○一般質問の質問席継続について。

○代表監査委員の出席について。

○決算認定議案要求資料について。

ついて。

○一部事務組合の報告について。(5組合の代表議員より組合の現状報告)

人事

教育委員会委員

柴崎 智美氏

再任

毛呂山町大字西戸

昭和38年9月生



議会だより編集委員

